

6. 主な報道発表（2023年9月1日以降）



◀こちらから当社ホームページを
ご覧いただけます

詳細な内容は当社ホームページ  <https://www.japc.co.jp> をご覧ください。

9月6日	敦賀発電所2号機の原子炉設置変更許可申請の補正に係る審査の再開について 本日、原子力規制委員会の定例会合において、補正内容に係る審査の再開が了承されました。
10月2日	敦賀発電所2号機 給水处理建屋における火災について（原因・対策） 火災の原因は、火気監視人からの作業中断指示が作業員全員に伝わらなかったため、水による冷却がない状態で、溶断作業が継続されたことにより、発生したものでした。 対策として電子ホイッスル等を用いて作業中断指示を行うことにしました。

げんでんふれあいギャラリー展示



◀こちらからげんでんふれあいギャラリーの
ホームページをご覧いただけます

きたむら す え こ
◆北村 壽恵子個展 和布くらふと 2023年10月3日（火）～10月8日（日）（最終日は15:30まで）

北村 壽恵子 様による、着物リメイク作品展です。暖簾や間切り、バッグ、裂き編み作品などを75点展示予定です。

◆敦賀市短歌人会 2023年10月17日（火）～10月22日（日）

結成23年目になる敦賀市短歌人会（代表：澤田 信子 様）の皆様による短歌色紙展です。会員皆さまの想いを込めた作品を25点展示予定です。

かわさき せつこ
◆河崎 節子 手仕事展（2）2023年10月24日（火）～10月29日（日）

河崎 節子 様による手芸作品展です。ビーズ刺繍のバッグや、ちりめんを使ったつまみ細工など、様々な作品を50点展示予定です。

◆フォトラブサークル写真展 2023年10月31日（火）～11月5日（日）（最終日は16:30まで）

かさほら よしかず
フォトラブサークル（代表：笠原 由和 様）の6名の皆様による写真展です。風景、人物、花などを被写体にした作品25点を展示予定です。

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～17:00 休館日 12月29日～1月3日
 <https://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/fureai.html>

イベントブース出展のお知らせ

2023年10月イベント出展情報 お誘いあわせの上、是非お越しください。

日時/イベント名	会場	内容
10月7日(土) 9:00～17:00 原子力の科学館 あっとほうむ イベント「こどもの広場」	原子力の科学館 あっとほうむ (敦賀市吉河 37-1)	・動物ダンボール貯金箱 ・クリアランスベンチ紹介
10月8日(日) 当社出展時間 13:00～17:00 若フェス in 縄文ロマンパーク	縄文ロマンパーク (三方上中郡若狭町鳥浜 122-12-1)	・写真キーホルダー (数量限定のため無くなり次第終了)
10月22日(日)10:00～17:00 仁愛大学 世灯祭 2023	仁愛大学 (福井県越前市大手町 3-1-1)	・写真キーホルダー (数量限定のため無くなり次第終了) ・クリアランスベンチ紹介
10月29日(日)10:00～15:00 REINAN 国際交流のつどい 2023	プラザ萬象 (福井県敦賀市東洋町 1-1)	・手回し発電おもちゃ ・イライラ棒！電車ドキドキ 運転ゲーム！！ ・クリアランスベンチ紹介



本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町2丁目9-16



げんでん いんふおめーしょん 10月号

2023年10月2日
No.230

1. 敦賀発電所の状況（2023年10月2日現在）

プラント（炉型）	状況
1号機（沸騰水型） 	●2017年5月15日より 廃止措置工事实施中 （廃止措置期間：24年） ○2015年4月 営業運転終了 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機（加圧水型） 	電気出力 116.0 万 kW、1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922 億 9908.3 万 kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ● 新規制基準への適合性確認審査対応中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ＝敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について＝ 当社は、2023年8月31日、敦賀発電所2号機の原子炉設置変更許可申請について、発電所北側にある断層（K断層）の活動性及び原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性に関する部分の補正書を原子力規制委員会に提出し、9月6日の原子力規制委員会の定例会合において、敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の今後の対応方針が示され、補正内容に係る審査の再開が了承されました。 9月22日には、補正書提出後初の審査会合が開催され、当社から補正書の概要及び今後のスケジュールについてご説明いたしました。 原子力規制委員会からは、上記補正書は、発電所北側にある断層（K断層）の活動性及び原子炉建屋直下を通過する破砕帯との連続性に関し、新規制基準への適合性を説明するために必要な記載・データ等を全て含めていること、改善した業務プロセスに基づきトレーサビリティを確保したものであることについて、当社への確認がありました。 また、今後の審査の進め方として、K断層の活動性※の審査を優先すること、早い段階で現地確認を行うことなどが示されました。 当社は、引き続き、原子力規制委員会の審査に真摯かつ迅速に対応するとともに、敦賀発電所2号機の安全性、信頼性の向上と地域の皆さまへの情報提供に積極的に努めてまいります。 ※8月31日の補正書は、K断層の活動性と原子炉直下を通過する破砕帯との連続性に関する部分について補正を実施した。

2. 敦賀発電所 3,4 号機準備工事の状況（2023年10月2日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。



建設予定地の状況（2023年9月25日撮影）

3. トピックス

敦賀発電所 1 号機「廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会」を開催

8月30日、(公財)若狭湾エネルギー研究センター主催のもと、敦賀発電所1号機の「廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会」が開催され、全体説明会に17社、個別面談に8社の県内企業の方にご参加いただきました。

福井県の「嶺南Eコースト計画」では、長期に亘る廃止措置を地域の産業振興につなげるため、廃止措置工事への地元企業の参入促進を掲げており、この取り組みとして今回で14回目の開催となります。今回の情報交換会は、敦賀発電所1号機で12月から工事開始予定の「液体毒物注入系解体工事」について開催されました。

当社より敦賀発電所1号機の廃止措置への取り組み状況について説明し、引き続いて元請会社の原電エンジニアリング(株)より「液体毒物注入系解体工事」の概要や工程、工事に必要な技術要件などの全体説明があり、その後、県内企業の方との個別面談が行われ、双方の情報をもち寄った意見交換が行われました。

当社は、今後とも廃止措置工事に係る情報を県内企業の皆さまをはじめ地域の方々に広く情報発信を行うとともに、安全第一での廃止措置工事を進めてまいります。



全体説明会の様子



個別面談の様子

4. コミュニケーション活動

「敦賀まつり」に参加

令和5年度敦賀まつりが「北陸新幹線敦賀開業200日前イベント」として、9月2日～4日の3日間、敦賀市の気比神宮や中心市街地で、4年ぶりに開催されました。

当社は、げんでんファミリー(日本原子力発電(株)、原電エンジニアリング(株))として、2日の「お祭り広場」、3日の「御鳳輦巡幸」、「神輿渡御」、「カーニバル大行進」、4日の「山車巡行」、「民謡踊りの夕べ」に延べ約170名が参加しました。

カーニバル大行進では、見に来られた皆さまが、より楽しめ、笑顔になってもらえるよう、九州日向(宮崎県)地方の“ひょっとこ踊り”で参加しました。沿道の皆さまからたくさんのご声援をいただきました。ありがとうございました。

また、神楽・相生町の両商店街お祭り広場に出展した当社ブースでは、工作や写真キーホルダー作り、クリアランスベンチ紹介など、多くの方々に楽しんでもらいました。

当社は、これからも、地域の皆さまとのふれあいを大切に、地域の一員として地域行事への参加や様々なコミュニケーション活動に積極的に取り組んでまいります。



カーニバル大行進の様子

キーホルダー作成
クリアランスベンチ紹介
(相生町商店街)

お祭り広場ブース：工作
(神楽一丁目商店街)

5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、2023年度30コースの公開研修開催を予定しており、以下はお申込み期限間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.japc.co.jp/tsuruga-training/index.html>

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われるS A F E R (Systematic Approach For Error Reduction)を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力発電所の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	11月15日(午後)～ 11月16日(1.5日間)	10月6日
リスクコミュニケーションコース	リスクコミュニケーションとは、リスクについて関係者間で情報や意見を交換し、その問題についての理解を深めたり、お互いにより良い決定ができるように合意を目指したりするコミュニケーションを言います。この研修では、講義やロールプレイング(役割演技)、参加者間の意見交換を通じて、リスクコミュニケーションのあり方、方法などを学びます。 原子力広報については、主に当社が実践している事例を用いて説明します。 リスクコミュニケーションや広報は原子力に限った話ではありませんので、その手法を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお勧めします。講義の一部やロールプレイングは専門家に依頼しています。	11月16日～ 11月17日(午前)(1.5日間)	10月6日
確率論的リスク評価コース	原子力発電所の事故については、様々な事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、この確率論的リスク評価(PRA)の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	11月29日～ 11月30日(2日間)	10月20日
原子力新技術コース	世界の原子力情勢と展望、次世代炉の開発動向などについて学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電の知識を有していることが望ましい。	11月30日(1日間)	10月20日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識及び安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム(O S H M S)について学びます。また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力発電所の作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	12月4日～ 12月5日(2日間)	10月25日
弁メンテナンスコース	様々な弁の構造、特徴やトラブル事例などを学習するとともに、一般的に使用されている弁を用いて、分解・点検・組立実習を行い、保守点検を実施する場合の基本的な知識・技能を学びます。	12月6日～ 12月7日(2日間)	10月27日
原子力入門コース	原子炉での核分裂など原子力発電の基本的原理を理解するとともに、原子力発電所で使われる代表的な機械設備と電気設備の概要などを学びます。 核分裂や連鎖反応など、原子力発電の概念を学びたい方にお勧めします。	12月12日～ 12月13日(2日間)	11月2日
原子燃料コース	原子力発電において使用される原子燃料について、ウラン鉱石の採鉱から使用後の処理・処分までの原子燃料サイクルとともに、原子燃料の取扱上、重要な保障措置や使用済燃料の輸送や貯蔵について学びます。	12月14日(1日間)	11月2日
無停電電源装置メンテナンスコース	コンピュータやエレクトロニクス機器を落雷・停電による誤動作や停止から守るために設置されている無停電電源装置(UPS)について、システム構成や点検方法などを学びます。	12月13日～ 12月14日(2日間)	11月2日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター(敦賀市沓見165号9番地6)
電話: 0770-21-9700 FAX: 0770-21-9726(研修申込み専用)
メールアドレス: tsuruga-tr-center@japc.co.jp

